

ウィズコロナの時代を生きる私（たち） にとっての『水俣病事件』

熊本学園大学・社会福祉学部福祉環境学科
同・水俣学研究センター

宮北 隆志

今日のお話

1. はじめに
2. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を取り巻く現状
3. 水俣病事件に長年向き合う水俣・芦北地域の暮らしの生業に規定要因
4. 3つの生（生命・生活・人生）をまもる「衛生学」の視点
5. レジリエントで持続可能な地域の再構築
6. 私（たち）にとっての「水俣病事件/水俣学」
7. おわりに

「水俣病事件」、「水俣学」、「新型コロナ禍」
見えなかった課題の顕在化

「水俣病は鏡である」原田正純

北大シンポジウム 2004

「水俣病は鏡である。この鏡は、
観る人によって深くも、浅くも、
平板にも立体的にも見える。

そこに社会の仕組みや政治のありよう、そして自らの生き様まで、あらゆるものが残酷なまでに映し出されてしまう。」

水俣学とは

- ✓ 「失敗の教訓」を将来に活かす学問です
- ✓ 豊富な真実のある現場に根ざした学問です
- ✓ 専門の枠組みを超えた学際的な学問です
- ✓ 「素人」と「専門家」の枠組みを越え、
すべての生活者に開かれた学問です



- ✓ 全ての成果を地元に戻元し、世界に発信する学問です → [水俣学アーカイブス](#)
- ✓ 一人ひとりの生き方と、現在の社会・経済システムのあり方を問い直す学問です



Beyond・コロナの
暮らしと社会